



地域おこし協力隊通信 vol.12

農林水産課農業振興係

Tel 0855 (52) 7493



江津市苔プロジェクト
推進コーディネーター
おのやま 優
小野山 優

1年間を振り返って

江津市のコケプロジェクトの連載を1年間続けてきましたが、今回が最終回となります。

市内ではとても身近なコケがさまざまなところで活用され、注目を浴びている存在だということを知っていただけたでしょうか。コケや栽培に取り組んでいる人々に興味を持っていただけたら嬉しく思います。

コケ栽培の輪を広げよう

自然を感じ癒やしを得られるコケは、都心部を中心にこれからも需要が高まっていくでしょう。将来、市場で販売されるコケがすべて栽培コケだけになる日も来るかもしれません。栽培コケといえば江津市！と言われる存在になるために、ごうつコケプロジェクトの活動は続きます。

コケ栽培は誰でも始めやすい農業ですが、続けていくのは簡単ではありません。増え続ける耕作放棄地も深刻な問題となっています。さまざまな課題を抱えるコケプロジェクトですが、アイデア次第で新しいものを生み出せる面白さがあります。

地域住民が一体となって、コケで地域課題の解決を目指したり、コケを通して生きがいを見出せたりと、参加する人が一人でも増えて欲しいと願っています。

栽培コケが広まれば

コケは昔から造園やコケ玉、屋上緑化の資材として利用されてきました。最近ではコケテラリウムが注目されています。また土壌改良剤のピートモスの材料や、大昔には枕や布団などの充てん剤として利用されていたこともあるそうです。多くの人がコケに関心を持ち、大規模生産に取り組む人が増えれば、昔のような使い方や、新しい商品が生まれるかもしれませんね。



①



②



③

- ① 県外のコケ事業者（クロスワークス株式会社）と高単価品種の栽培と出荷回数増加による生産者の所得向上を目指して、室内コケ栽培研究に取り組んでいます。
- ② 江津市が配布しているコケ就農パンフレット。県外から江津市に移住して農業を始めたい人にコケ就農モデルやサポート体制の紹介をしています。
- ③ 「江津苔ツアーガイドブック」は、誰でもコケのツアーガイドに取り組めるように、ガイドの基本やコケの基礎知識についてまとめています。